

# 重点目標一覧表

【平成25年度重点目標】

重点目標	安全・安心なまちづくりと環境に配慮した地域づくり
具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
安全・安心な地域づくりのため、青色回転灯車による防犯パトロールを継続実施 丸子地域市街地排水対策の実施	防犯パトロールを年間87回（月平均7.3回 週平均1.6回）実施
道路・河川の安全対策実施	中丸子地区完成 下丸子地区はH26年度から2年間の事業期間で工事実施予定 パトロール実施（道路関係事故1件） 30路線で危険木等の伐採実施（倒木事故0件）
災害時要援護者登録制度【住民支え合いマップ事業】の推進 防災行政無線の有効活用 不法投棄ごみ及び可燃ごみの削減	新たに2自治会が協定を締結（26自治会中、未導入4自治会） 講習会と通信訓練を実施。年間を通じて通常業務で携行し有効活用 不法投棄ごみ：前年度比32.4%削減 可燃ごみ：対20年度比2.03%削減

重点目標	キラリと輝く丸子温泉郷を目指して
具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
丸子温泉郷の活性化 （鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトの具体化等）	マスタープランについて、複数課が参加する庁内ワーキンググループ会議（6回）で内容を検討。長野大学他の若者の感性も取り入れ、鹿教湯の地域活性化と地域資源活用の取組にも参加。（発表会2/28）新しい取組みとして、メディア（民放ラジオ）と連携し、鹿教湯温泉ふれあいフェスティバル開催に協力。県内外から128人の参加で好評
鹿教湯温泉の源泉、配湯設備等の再構築の検討 温泉の維持管理体制の強化	9月上旬に現状湯量調査と利用者要望の聞き取り実施。その後湯量調査を継続。施設の老朽度等も9月末までに調査し、今後10年を見据えた設備投資の研究を開始。当事者間の認識共有化協議を9月から開始。概ね同意を得て次年度始めの協定調印を調整。未収金は新たな契約締結により、次年度始めに大半を解消見込み

重点目標	「絆」を深める市民協働のまちづくり
具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
パートナーシップ事業の推進	連携交流回数22回、特に10/6の義仲拳兵武者行列（100名）での丸子修学館高校演劇部の合戦演舞が好評（3会場観客数延べ2千人）
市民協働による公共交通活性化	循環バスの乗降調査を2回実施 外装のラッピングデザイン案を丸子修学館高校美術部から8件受領 経過等を地域広報紙に2回掲載 次年度中に「ラッピング」を実施予定
丸子ファーストビルの利用促進	小中中学校7校による青少年ネットワーク会議の児童生徒の作品展示6回、広報紙によるサイト募集を2回、短期間の店舗貸付2回実施
街なかインフラの整備（上丸子商店街との協働による歩道整備の具体化）	上丸子商店街（街並み研究会）や地元自治会と協議し事業を実施（H26年5年竣工予定）

重点目標	げんきまるこ 地域の特性を生かした産業の振興
具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
イベント等における地産地消の推進に向けた活動 遊休荒廃地化対策として農地の流動化の継続的な推進 地域の絆再生会議「中心市街地再生」の支援	あさつゆイベント(3回)、陣場ぶどう畑収穫体験(6日間471人参加)を実施 耕作希望者への仲介により、3.4haの遊休荒廃農地を解消 定例役員会(12回)出席。新たな取組として12/15地域内病院勤務2人の結婚式を実施
新分野へ挑戦する企業・工業団体の支援	販路拡大補助8件と新技術補助1件交付。情報提供150社。市長と「丸子武石地域企業の発展と地域の活性化を語る会」実施（35社、52人参加）
カネボウ跡地の有効活用の研究 ～新たな賑いと憩いの空間創出に向けて～	庁内ワーキンググループ会議を設置し地域課題等を協議(7回)。カネボウ跡地の環境美化等を実施するマルチ事業所等連絡協議会の設立支援(15団体)

重点目標	市内ナンバーワンの接客対応
具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度
丸子地域接遇向上推進委員会の設置 各課ごとの接客向上対応啓発 接遇向上研修会の実施 あいさつ・声かけ月間（仮称）の実施 来庁者アンケートの実施	委員会を設置し、接遇向上強化月間などの検討を実施 課別啓発のほか、朝礼夕礼等の履行状況調査を実施 11月に全職員を対象とした接遇向上研修会を実施（出席職員74名） 11月、3月の2回、重点項目を定めて取組を実施 3月に地域内の各職場、施設で来庁者アンケートを実施(回答数209件) 調査結果：良い78.3%、普通20.4%、悪い1.3%
職員接遇意識調査の実施	研修会に併せて調査実施(133件) 接遇意識の向上(前年度比4点増 81点)

市長指示事項
・丸子温泉郷の活性化については、具体化できるよう工夫を凝らしながら鋭意取り組むこと。 ・バスのラッピングデザイン作成については、決定までの過程を地域等へ積極的に発信すること。 ・接客対応については、目標が達成できるよう継続して努力すること。

【平成26年度重点目標】

重点目標	地域経営会議の設立 ～参加と協働による住民自治の先進モデル構築～
具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
自治会や地域協議会、各種団体との意見交換 地域経営会議設置に関する検討会議を設立し、区域や規約のほか組織や一括交付金制度の利活用等の検討 地域経営会議の設立	5月までに検討開始 7月までに検討会議を設立、9月までに区域を決定、12月までに規約等決定 年度内に設立

重点目標	キラリと輝く丸子温泉郷の活性化
具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
【活性化へ向けた取組】 鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクト策定マスタープランの事業絞込みと具体化に併せて鹿月荘、クアハウスかけゆのあり方を検討 鹿教湯・霊泉寺の活性化グループ（霊泉寺温泉JUKUプロジェクト）が行う各種計画各種計画や研究に参加し具体化を検討 県等と連携し、着地型旅行商品の開発とPR活動の実施 【鹿教湯温泉の地域課題解決への取組】 温泉権利問題・多額な滞納問題の解決と新温泉統合協定の締結	年度内を通じて庁内ワーキンググループ会議での検討と地元会議等へ参加・支援 年度内を通じて地元会議等へ参加・支援 県主催の商談会等で2回以上PR実施
温泉利用権に係る諸課題に対応した基準の整備 今後10年以降を見据えた地域ニーズの把握 将来の収益確保につながる設備投資等検討	権利・滞納問題に関する和解合意と新協定締結（4月中） 12月までに整備 6月までに意向調査の実施 3月までに具体的な行程等を提示

重点目標	安心なまちづくりの推進 ～災害に備えたまちづくり～
具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
災害時情報の収集・発信方法の確立と本部機能の強化	8月までに庁内ワーキンググループ会議で手法等を決定し、防災訓練で試行。10月までに改善点を反映したマニュアルを作成
防災行政無線の利活用	8月までに研修会を実施し、防災訓練でも使用するほか災害時有効活用を目的に通常業務でも利用促進
災害時要援護者登録制度【住民支え合いマップ事業】の推進	未導入である4自治会へ制度説明と導入促進。既導入自治会の台帳更新（年1回）を支援

重点目標	環境にやさしく笑顔が広がる地域づくり
具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
【地球環境に配慮した取組】 可燃ごみの削減と再資源化の促進 不燃ごみ3分別丸子モデル事業の見直し	可燃ごみ：対20年度比7.8%削減 6月までに雑がみ回収袋配布と全26自治会へ向けての説明会実施 自治会・関係団体へのアンケート5月～6月報告・見直し検討・説明 8月～10月年度内を通じて庁内ワーキンググループ会議での検討と地域協議会とも連携した利用促進策の検討と実施 調達目標額30万円以上（市目標額の15%）
【やさしい地域づくりへの取組】 公共交通活性化の推進（循環バスと路線バスの利用者増） 障害者就労施設等からの物品調達推進	

重点目標	明るく親切で満足度の高いセンターづくり
具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
【庁内横断の情報共有と迅速で質の高いサービス提供】 地域内課題への機敏かつ効果的な対応の充実 【さらなる来庁者満足度向上への取組】 庁舎内での積極的かつさわやかなあいさつや、担当窓口までの丁寧な案内を徹底 接遇向上研修会の実施 あいさつ・声かけ月間（仮称）の実施 職員接遇意識調査・来庁者アンケートの実施	庁内ワーキンググループ会議において、年間を通じて地域課題や地域予算の活用等を検討のうえ必要事業を実施 通年 10月までに全職員対象の研修会開催 強化月間設定、実施（10月、3月） 調査・アンケートの実施（10月、3月）

市長指示事項
・地域経営会議の設置については、モデル地区として地域の機運が高まるよう鋭意取り組むこと。 ・公共交通の利用促進については、PR等鋭意努力し進めること。 ・職員の接遇については、更に向上するよう引き続き努力すること。